



いいで町

173号

議会だより

祝 添川小学校 入学式



いなほの子8人の新入生（添川小学校）

3月定例議会

定例会概要	P 2
政策提言	P 4～5
一般質問	P 8～12
予算特別委員会	P 14～17
総務文教・産業厚生常任委員会	P 20～21

当初予算

3月定例会

概要

第2回定例会は、3月5日から15日まで11日間の会期で開催されました。

第1日目は、5議員が一般質問を行い、財政の健全化、町長の公約の実施状況、安心して暮らせる町づくり、持続可能な町づくり、農業の将来についてなどを町長に質しました。

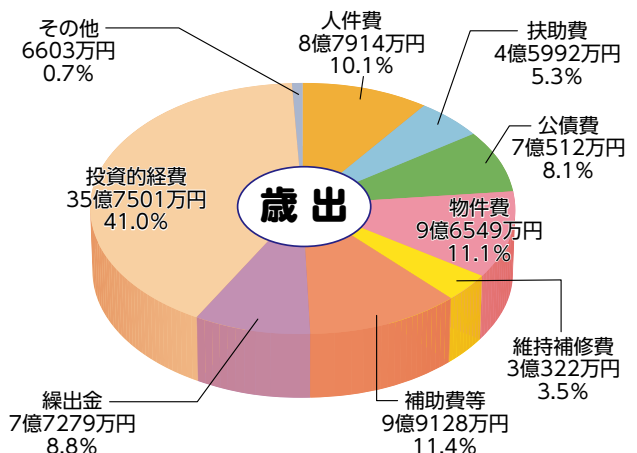
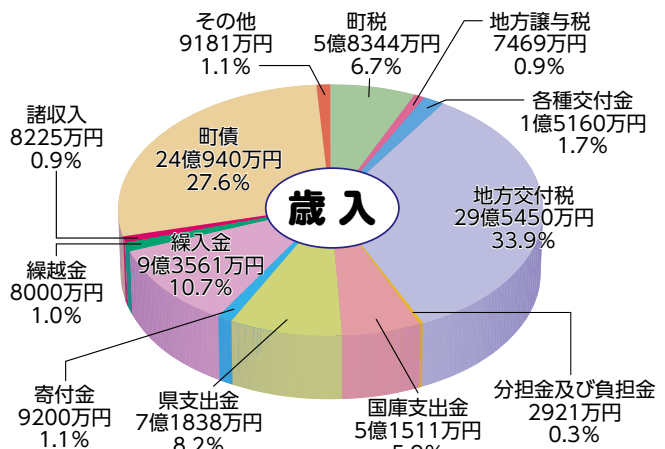
第2日目は諸般の報告と行政報告の後、議案審議を行い、条例関係6件、各会計補正予算13件、同意4件、諮問1件、その他4件を原案のとおり可決しました。また、町長から施政方針の説明を受け、総括質疑を行いました。

最終日は、平成31年度一般会計ほか13会計予算及び条例等を審議し、全員賛成で可決しました。

平成31年度当初予算額

会計名	予算額	
一般会計	87億1800万円	
特別会計	国民健康保険 事業勘定	7億7002万円
	国民健康保険 直営診療施設勘定	1億0782万円
	後期高齢者医療	8711万円
	介護保険	10億6705万円
	訪問看護	1778万円
	介護老人保健施設	2億8542万円
	物品調達	1731万円
	下水道事業	4億1876万円
	萩生財産区	41万円
	豊原財産区	32万円
	添川財産区	350万円
	豊川財産区	23万円
	中津川財産区	751万円
	水道事業	収益的 収入
収益的 支出		2億1152万円
資本的 収入		3200万円
資本的 支出		8237万円

一般会計 87億1800万円



過去の最大の

平成31年度 予算のあらまし

一般会計予算は、前年度比25・4%増の87億1800万円となりました。
2年連続増額の過去最大予算です。

主な歳入

- ふるさと納税寄附金 8000万円
- 多面的機能支払交付金 1億0528万円
- 食料産業・6次産業化交付金 1億8200万円
- 経営体育成支援事業補助金 3600万円
- 地方創生推進交付金(地域づくり・町おこし等) 1億2285万円



貸工場の完成予想図

主な事業

- 貸工場建設事業 14億3540万円
- 専門職短期大学整備事業補助 3億5000万円
- 中学校大規模改修事業 4億7916万円
- 畜産団地造成事業 9050万円
- 椿住宅団地造成事業 1億2104万円
- 添川住宅団地線ほか道路改良事業 1億2360万円
- 林道飯豊桧枝岐線法面改良事業 3050万円
- 耐震性貯水槽設置事業(2基) 1600万円
- 畜産経営競争力強化事業 7155万円
- 添川小学校体育館屋根改修事業 3407万円
- ふるさと寄附金返礼品 2850万円
- プレミアム付商品券発行補助 1260万円
- 住宅リフォーム支援事業補助 1660万円

設も視野に

小学校統合問題

政策 提言

提言の趣旨

「町民の意見を把握し、政策形成に反映させるため、意見交換会を開催するものとする。」と議会基本条例で定めています。これに合わせ、今年度も意見交換会を実施しました。また、町制施行60周年記念事業の一環として、「いい子ども議会」を開催し、斬新で独創性の高い提案が出されました。本提言は、その中で出されたことなどを中心に各常任委員会、議会運営委員会で議員間討議を行い、政策提言したものです。

提言1

小学校・乳幼児施設の 統廃合推進について

小学校の統廃合計画は進められているものの、まだ結論には至っていない。早急に結論を出すべきである。

- 1 小学校の統廃合を進めるにあたっては、新たな校舎の建設も含め検討すること。
- 2 乳幼児施設についても統廃合を進め、国の施策に対応すること。
- 3 統廃合により発生した空校舎等の利活用を図り、遊休地及び遊休施設にならないようにすること。

提言2

事業を推進するため 計画に基づく健全な財政運営を

新年度以降、新産業集積事業及び畜産生産拠点整備事業並びに中学校大規模改修事業等が予定されている。町民からは、将来の財政運営に対して危惧する声が多く寄せられている。このことから将来を見通し、しっかりとした行財政計画を立てること。

- 1 第4次総合計画に基づく実施計画は、現状に沿った見直しを図ること。また、行財政改革大綱を策定し、健全な財政運営を図り、町民の負託に応えること。

提言3

町民の税外負担の軽減を

現在、各種税の税率改正が予定されており、町民の負担が増えることが懸念されるので、負担軽減に努めること。

- 1 給食費や保育料、上下水道料金などの税外負担を極力抑える政策を遂行すること。

新たな校舎の建

提言4

観光客の 誘客に力を

海外からの観光客は3000人を超えている。しかし、町への経済効果が現れていないので、なお一層の誘客に努めるべきである。

- 1 インバウンド受け入れ体制の充実と施設整備、特に町内の宿泊施設等への支援に努めること。
- 2 地域連携DMO（観光名所と地域づくりを行う法人）との連携を図り、集客増に努めること。
- 3 町の特産品を活用したおみやげ品の開発、販売を促進すること。



今年も政策提言を

台湾インバウンドで盛況のスノーパーク



提言5

雇用のための定住対策を

少子高齢化等で人口減少が進む中、特に働き手不足が続いている。活性化を図るため、人材の確保が喫緊の課題である。本町独自の政策を展開し、企業等を支援する必要がある。

- 1 町民の方々に対し、町内企業の紹介に努めること。
- 2 町外からの転入者・就職者に対し、定住できる施策の充実を図ること。

提言6

心と体の健康増進施設を

子ども議会で、数名より町を代表する総合運動公園を要望された。家族連れで子どもから大人まで憩える場所の整備が必要である。

- 1 総合運動公園の整備を図ること。
- 2 遊休施設を活用し、遊具を備えたスポーツ施設等の整備を図ること。

施政方針

一隅を照らす人

飯豊町長

後藤 幸平

持続可能なまちづくりがキーワード



「一隅を照らす人こそ、国の宝だ」

そう説いたのは、天台宗を創始した伝教大師最澄の言葉です。

一隅を照らす人、それは地域社会やまちむらのなかに、たしかに存在としておられます。

里山を訪れる人々を迎える道端の花、水仙

ロードづくりに汗を流す住民の皆さん、町内各地で地域を支える人たちの存在が、まちづくりの主役です。

ここに住む人たちと守り続けた「手づくりのまちいい」と「持

続可能なまちづくり」

をキーワードにしてい

きます。夢を抱き続け、

孫へ、ひ孫へ、この美しい飯豊を継承してい

くため、これまでの歩みを止めることなく施策を実施していきます。

にぎわいあふれるまちづくり

定住移住対策として整備する「エコタウン椿」が完成します。新たなビジネスモデルとして飯豊型エコハウスの普及促進に取り組み

ます。また、結婚を支援す

るため「いい出会いサ

ポートセンター」を創

設し、婚活サポーター

が未婚の男女の出会いを支援します。

自然と共生するまちづくり

「新潟・山形南部連絡道路」飯豊町区間の早期事業化に向けて、官民一体となり、積極的に事業推進要望を

図っていきます。豊かな自然と美しい

景観を次世代に引き継ぐため、景観条例の制

定、景観計画の策定に

生きがいと笑顔のまちづくり

「飯豊町障がいのある人もない人も共に安心して暮らせるまちづくり基本条例」を策定

しました。計画に沿って、障がいの有無によって分け

隔てられることなく、誰もが共生できる社会

の実現に取り組みます。

「飯豊町立小学校適

正配置基本計画」を策

定しました。これにより、今後の学校のあり方を検討する「再編検討委員会」を設置し、1年間をかけて小学校の将来のあり方を検討

していただきます。併せて、幼児施設も

乳幼児児童数が減少していることから、町内幼児施設の2園化に向けて

早急に検討します。

平成30年6月、全国29都市の「SDGs未来都市」の一つに選定

されました。

従来からの住民参加

こだわりの産業づくり

米沢牛の主産地として、確固たる地位を築

き上げた本町の畜産業。さらに名声を上げる

ためにも、家畜排せつ物活用のバイオガス発電事業と連携し、畜産業の発展に努めます。

持続可能なまちづくり

型のみちづくりを進め、自然環境を大切に、将来とも持続可能なまちを築いていきます。

総括質疑

町制史上最大の予算規模

持続可能な財政を

嶋 貫 栄 助 議員



問 予算総額が過去最高で、多額の町債・基金繰入金に頼っているが、今後の財政運営の見通しは。

町長 歳出の大半が将来への投資に関わるものです。雇用や企業利益の創出、税収の増加を見通せる投資です。従来の公平公正な分

配をしつつ、人を育てる教育投資、定住促進の住宅投資、町民の所得向上の投資、町税の増収を図るための投資です。

で住民の声を聞きながら、定住のための支援に取り組みます。また、県内外からの移住につながるよう住宅団地整備を進めていきます。

計画による効率的な森林管理、公共施設等への木質ボイラー導入での賦存資源の有効活用を図ります。

芸作物の生産振興に取り組み、食糧の自給力向上や安定的な農業経営を目指します。

問 高齢化、後継者不足等で優良農地が危機

問 高齢者世帯等への買い物支援対策は。

問 新産業集積事業、専門職短期大学の誘致、デンソー山形新工場の完成などで、多くの雇用が見込まれるが、新たな定住対策は。

問 林業の成長産業化と森林資源の適正管理の両立を図るため、森林環境譲与税の具体的な活用は。

問 高齢化、後継者不足等で優良農地が危機

町長 現在、専用車両による循環販売、ほほえみカー利用券発行事業、飯豊町商工会宅配支援事業があります。商店が主体となり、

林業の成長産業化にむけて



町長 企業誘致が進み、都市部に転出しなくても働く場所が選択できる環境が整いました。

町長 意欲と能力のある林業経営者に対し、下刈りや間伐等の管理、後継者育成事業に支援を考えています。

町長 米の生産数量目標配分が見直され、稲作からの転換作物として、町ではアスパラガスを最重要振興作物と位置付けています。これを軸に奨励作物や園

高年齢者の買い物支援をさらに充実する「商業活性化支援事業」に取り組みます。

第5次飯豊町総合計画と地区別計画の策定

財産区等の森林経営

財政の健全化を貫く方策は



鈴木敏夫 議員

- 一般財源に占める公債費について
- 婚活支援事業について
- 職員の管理監督の取り組みは
- 障がい者福祉、町の対応は
- 子どもの貧困への具体的支援は

質問 一般財源に占める公債費について。

健全で堅実な
財政運営に努力

町長 大規模な事業の償還開始が集中する平成35年度にかけ、実質公債費比率は上昇していくことが見込まれます。堅実な財政運営の確立に一層努めます。

質問 婚活支援事業の対応は。

婚活支援組織設立へ

町長 婚活支援については、「婚活サポーターの養成」を進めているほか、若者の婚活支援を行う組織を設立することを予定しています。

質問 職員の管理監督が不十分だとの指摘が

あるが、今後の取り組みは。

適正な職場環境を構築

町長 限りある人材で最大の効果を発揮するため、適材適所の職員配置と、効率的な組織運営を構築するよう徹底して指導します。

質問 障がい者福祉、町の計画は。

地域共生社会の実施に

町長 社会福祉法等の改正により、国は「地域共生社会の実現に向けた取り組みの推進等」を求めています。

本町としては「飯豊町障がいのある人もない人も共に安心して暮らせるまちづくり条

例」に基づく地域共生社会の実施に向けた取り組みを進めています。また、高等学校や大

質問 子どもの貧困への具体的支援は。

就学援助費等の支給

教育長 町では、経済的理由によって就学が

みんなのチカラ
飯豊町の宝



一般質問

町民の要望に答えられる種か



古山 繁巳 議員

○山形大学×EV飯豊研究所

について

○スロービレッジ、屋台村について

○東山工業団地について

質問 近年、事故が多発しているモバイルバッテリーが電気用品安全法を改正するにあたり、国では電気用品整合規格検討ワーキンググループを設置したとあった。山形大学×EV飯豊研究所がどの程度かわっていたのか。

飯豊研究センターは関わっていない

町長 平成31年2月1日以降は、国の安全基

準に適合した電気用品であることを示す「P

SEマーク」のないモ

バイルバッテリーは、

輸入が規制され、販売

禁止の措置がとられる

ことになりました。こ

のような国の規制強化

の動きに関して、山形

大学×EV飯豊研究セ

ンターが関わったとい

うことはないと思定さ

れます。

質問 山大関連の人達

が宿泊するために補助

金まで出したホテル、

さらに町内を賑わせるために始めた屋台村の現状は。

曜日や季節で変動

町長 ホテルスロービ

レッジ施設内のコワー

キングスペースは、山

形大学×EV飯豊研究

センターと企業との会

議、町内外の若者交流

会、民間事業者の商談

の場として活用してい

ます。屋台村「いいで

ら」は、曜日や季節で

利用者は変動しますが、

町内産物の提供などを

通じた新たな交流の場

情報発信の場として

定着しています。

質問 町長から、貸工場を作ることで飯豊町

の人口減少を止めるこ

とができる」と説明が

あった。議会からも人

口減少の歯止めには有

効と賛成者もあったが

その施策は。

不足する労働力を 町外や県外に

町長 リチウムイオ

ン電池の機能性材料の

開発と、製造を行う貸

工場では、雇用は10

0人程度見込まれます。

2025年には10兆円

産業に近づく」と予想さ

れています。若者に魅

力ある勤め先のひとつ

として選択いただけると思

います。

町内若者の定住が促

進され、不足する労働

力を町外や県外に求め

て、Uターン者やI

ターン者を拡大する大

きな機会となるものと

思っています。



進む貸工場用地造成

町民全てが 安心して暮らせる町に



長沼 桂子 議員

○ 児童虐待の現状と対応について
○ 障がいのある方も安心して暮らせる町に

【質問】 児童虐待の本町での発生件数と、その対応はどうか。

また、虐待にあっている児童の相談先と、逃げ道は。

児童虐待は8件

教育長 児童虐待の疑いのある相談及び通告は11件あり、そのうち8件を虐待と認定しました。相談窓口は、警察や学校、役場などです。

【質問】 虐待は夜間に多く発生しているが、役場、学校等は人がいなくなる。夜間も営業しているコンビニ等の協力を得て、一時保護をお願いしてはどうか。

コンビニ等の協力と連携はとても大切

教育長 コンビニ等の協力を得ることは大切です。それを広く周知していきます。

【質問】 障がいのある方が安心して生活できるように条例を制定したが、その効果はどのようになっているか。また、役場庁舎は障がいのある方に配慮されていない。エレベーターを早急に設置する必要があると思うが、どのように対応するか。

エレベーターの設置は庁舎耐震化と合わせて

町長 今年度中に基本計画を策定し、企業等に差別解消の自発的な取り組みを促していきます。役場庁舎へのエレベーターは必要と思いますが、耐震化と合わせて検討します。

【質問】 デンソー山形が障がい者の方々に作ってもらっている「デンソークッキー」は、世界的に有名だが、本町でも「でんでん」で製作している「さおり織り」を様々な町行事の記念品にできないか。

「さおり織り」とミニチュア花笠を

町長 現在は花笠のミニチュアサイズを記念品にしていますが、今後は「でんでん」の「さおり織り」も考えていきます。

【質問】 「障害者の雇用促進等に関する法律」の中で、法定雇用率が定められているが、充足率はどうか。

障がい者雇用は1名不足

町長 法定雇用率は2・5%と義務付けられています。町は1・73%で1名不足しています。

障がい者の雇用を図るため、募集及び仕事の創出等に努めます。



地域で守ろう子ども達

一般質問

今までのまちづくりと 未来の持続可能なSDGsへの取り組みは!



遠藤 忠 議員

○今までのまちづくりを振り返る
○今後の持続可能なまちづくりSDGs取り組みは
○インバウンド訪日客の活用を考える
○定住人口増対策住環境の整備は

質問 昭和33年9月1日中津川村を編入して飯豊町が誕生し町政施行60年を経過。昭和40年の人口は1万3817人を数え、現在は7134人です。反省点は、企業誘致と住宅政策の少なさが人口減少や少子化に。60年のまちづくりは、何が足りなかったのか。

質問 10年20年先を見据えたまちづくりが政治。世界は第4次産業革命、情報社会の真っただ中。今後の社会はソサエティ5・0です。最終的には少子高齢化、地域格差、貧困の差などの課題を解決し、

一人ひとりが快適に暮らせる社会を実現して、便利な社会の構築が真の目的です。国連が採択した「SDGs(持続可能な開発目標)」とも共通する目標であり、世界的にも重要なキーワードになってくる内容です。持続可能な地域社会を構築していくためには①就業の場の確保②生活サービスの確保③担い手の確保④安心して暮らせる地域づくりの実現が大切。

「2030年も日本で美しい村であり続けるために」の内容でSDGs未来都市に選定されました。どのように取り組むのか。

質問 今後益々増加するインバウンド(訪日外国人)の活用を考える。地域連携DMOでいかに町内にお金をおろす。



※ソサエティ5・0 日本が提唱する未来社会の目標で5年後ごとに改定されます。

町長 計画的な整備が必要。観光による活力ある地域の発展と魅力ある地域づくりをめざします。

質問 町内で働ける場づくりと、定住人口増対策、民間活力での住環境の整備は。

移住定住促進を推進

町長 人口増加に転ずるこの機会を新たなビジネスチャンスとし、民間によるアパート建設などの投資を促す施策、移住定住促進を推進します。

受入体制の整備と情報の提供が重要

農業の将来を見据えた施策は



高橋 亨一 議員

○スマート農業の夢は
○小規模農家への施策は

【質問】 スマートフォン

での水管理、無人トラクターやドローンなどの利用によるスマート農業の夢を担い手に結びつけるには。

【質問】 兼業農家や家族

経営農家など、小規模農家への町独自支援や施策の考えは。

成長産業化に向けた
構造改革を

町長 担い手に農地集積を進めるには、耕作条件の改善が大前提です。農地中間管理機構関連事業の農地整備事業を行い、大区画化や用排水路整備を実施し、大型機械に対応できる農地整備を進めます。

地域特性を活かした
農業の取り組みに支援

町長 補助事業の活用や町独自施策を講じ、

土地利用型作物を取り入れ、野菜や園芸作物などを組合せた少量多品目経営を支援し、説明会や講習会など、きめ細やかな支援をしていきます。また「飯豊・農の未来事業」の中で土地利用作物への転換



スマート農業の夢が可能に

に取り組んでいます。

小規模農家や兼業農家の所得向上と経営安定化を図り、兼業農家でも持続可能な農業経営ができる農村社会を目指していきます。

農地の維持活動に
多面的機能支払交付金

町長 農地を保全・管理していく上で、農家・非農家を問わず地域の農地と環境を守る体制づくりが必要です。

【質問】 地域の資源を保全管理している、保全活動組織のメンバーも高齢化で事務作業や書類作成の作業が大変になっています。

【質問】 平成26年から、5年間で151人の方

が離農されている。年間平均30人、面積で約191haになる。
農家の減少により担い手不足が進み、農地の貸借に支障が出るのでは。

各地区の
「人・農地プラン」で

町長 農業の担い手は法人も含め225人です。60歳未満が44%、山間部と中山間地区では、担い手が少なく、地区外から担い手を受け入れなければ、維持管理が困難な状況です。
農業委員会は、農業の将来を把握するためアンケート調査を実施し、各地域の「人・農地プラン」で検討し、施策に反映させていきます。

事務負担軽減とシステム化の対策は。

条 例

放課後学童クラブを明文化

新たな条例

一部を改正する条例

○放課後学童クラブ設置条例

児童に適切な遊びと生活の場を与え、家庭と地域等で連携し、主体的な遊びや生活ができるよう、児童の健全育成を図ることを目的として、放課後学童クラブの設置を明文化するものです。

○課設置条例

効率的な行政組織体制にするため、総務企画課を「総務課」と「企画課」に、住民税務課を「住民課」と「税務会計課」に改め、平成31年4月1日から施行するものです。

○特別職の職員の給与に関する条例

町議会議員の月額報酬を、議長34万円、副議長28万円、議員26万5千円に改正し、平成31年8月6日から施行されます。

また知識監査委員の年額報酬を33万円に改め、平成31年4月1日から施行されます。

○飯豊町中小企業振興条例

企業支援団体、金融・教育機関の果たす役割の規定を追加し、支援措置を規則・要綱に改正するためです。

○議会政務活動費の交付に関する条例を廃止する条例

議会政務活動費を廃止するため、条例を廃止するものです。

○飯豊町議会委員会条例

課設置条例の改正に伴い、委員会の所管課を変更するものです。

○道路占用料徴収条例

道路法施行令の改正に準拠し、占用料の改



学童クラブキャンドル作り



目途に平年ベースへ

総務文教所管分



予算特別委員長

鈴木敏夫

平成31年度一般会計、特別会計12件及び水道事業会計あわせて14件について予算特別委員会を設置し審査しました。
委員長に鈴木敏夫、副委員長に長沼桂子両委員を選任、3月12・13日の2日間にわたり慎重かつ活発に審査を行い、いずれも認定すべきものと決しました。

一般会計

公債費の

償還ピークは

長沼委員 87億円強の

予算額は、平年と比べ20〜30億円増となっている。何年後に平年ベースに戻るのか。

激減している基金が底をつくのは何年後か。

また、公債費の償還ピークと、公債費負担比率の推移は。

総務企画課長 基金残

連携協働推進事業とは

古山委員 生涯学習推進費の中で学校・家庭・地域の連携協働推進事業は、どのようなものか。

また報償費346万円の内訳は。

社会教育課長 「やまがた子育て講座」「幼児教育ふれあい広場」等、地域と連携し学校教育活動を支援推進するため、学校に地域学



耐震貯水槽設置

消防施設の内容は

校本部コーデイネーターを配置し、教育課程の諸課題を解決するものです。

遠藤委員 消防施設等整備事業の中で消防施設整備等工事費1760万円とあるが、整備する場所と内容は。

報償費の内訳は、コーデイネーター3名分の謝礼320万円、その他です。

予算特別委員会

予算規模36年度



椿住宅団地モデル住宅完成予想図

総務企画課長 耐震性
貯水槽1基当たり80
0万円のもの2基を、
黒沢高柳地内と小白川
下野地内に設置する計
画です。
残りの150万円は
各ポンプ庫の屋根の補
修です。

椿住宅団地 モデル住宅の内訳は

鳴貫委員 椿住宅団地
整備事業のモデル住宅
工事請負費3500万
円の内訳は。

総務企画課長 椿住宅
団地は工事契約期間を
8月末までとして進め
ています。

3500万円の内訳
は、モデル住宅を建築
し、22区画ある中でエ
コ住宅を体感していた
だきたいのと、地元大
工さんがエコ住宅に対
しての勉強の場とし、
エコ住宅の基準等でガ
イドラインにクリアア
ーできるような建物を建
てることのできる場と
して、モデル住宅を建
てるものです。
面積は35坪から40坪、
坪単価は65万円から70

万円で2500万円、
カーポート・外構工事
で700万円を予定し
ています。

個人番号カードの 交付率は

高橋委員 平成31年度
は個人番号カードの交
付を何件見込んでいる
か。

また、交付率は全体
で何パーセントまで達
成の見込みか。

住民税務課長 平成31
年2月末で発行件数が
930件、交付率が
12・8パーセントです。
県内では、小国町に次
いで2番目に高い交付
率になっています。
31年度は、170件
の交付で15・5パーセ
ントの交付率を見込ん
でいます。

移住支援事業 補助は

菅野委員 移住世帯向
け食の支援事業補助金
5万円の内訳と、移住
支援事業補助金150
万円の内訳は。

総務企画課長 県移住
世帯向け支援事業補助
金として5万円を計上
しました。

平成30年度から、山
形県が移住者に対して
県内産の米、味噌、醬
油を支援しています。
31年度は5世帯分を
予算化しています。
移住支援事業の補助
金150万円は、わく
わく地方生活実現パツ
ケージ移住支援政策に
支出するものです。

まちづくり

産業厚生所管分

一般会計

住宅リフォーム

件数は

遠藤委員 住宅リフォーム支援事業補助金1660万円は、何件見込んでいますか。

経営体育成支援事業は

事業は

高橋委員 経営体育成支援事業3600万円は、何件見込んでいるか。

居場所づくり

準備補助金とは

地域整備課長 31年度は30万円50件、80万円2件を見込んでいます。

農林振興課長 3000万円12件分です。県が判断するもので認定のハードルが高いようです。

菅野委員 居場所づくり準備補助金66万円はどのようなものか。

健康福祉課長 各地区公民館ごとに1カ所開設し、地域が主体となり空き家等を利用し憩いの場として活用するものです。



高円寺の陳列棚



高円寺おにぎりコーナー

リニューアルの内容は

内容は

古山委員 高円寺リニューアルの内容は。

産業活性化担当課長

3月2日にリニューアルオープンし、年中無休でおにぎり1日100人分を販売する見込みです。

小売・販路開拓・飯豊の情報発信をメインに行っています。

肉用牛センター

解体後は

嶋貫委員 町営住宅使用料の減額理由と、肉用牛センターの解体後は。

地域整備課長 手ノ子町営住宅は79%の空きが出ています。減額するものです。

農林振興課長 肉用牛センター解体後は、添川財産区と利用者との賃貸借契約になります。



手ノ子町営住宅

射撃場と湖岸公園の整備は

長沼委員 町猟友会補助金43万円とあるが、観光資源として白川湖岸公園との一体整備は。

町長 白川湖岸公園・射撃場・白川荘、地元の観光を前向きに検討します。

農林振興課長 平年の補助金にテント購入費



白川湖岸の水没林

予算特別委員会

あたたかい

13万円を上乗せしました。

伐倒駆除場所は

遠藤委員 伐倒駆除の718万円はどこか。
農林振興課長 添川上代と松原地区の松枯れ伐倒駆除費です。

特別会計

健康寿命を

のばすには

高橋委員 介護保険料は県内でも高い。健康寿命をのばすことで保険料を低くできる。健康寿命をのばす事業の展開は。

ロンを行っています。

らくらく筋トレ教室はマシンが新しく更新されましたので、従来の週4日から週6日に増やし、皆さんの健康づくりに役立てます。100歳体操は参加者が増加しています。

医師の長期勤務は

長沼委員 医師が毎年変わるのどうかと思う。長期勤務することできないか。

健康福祉課長 ほのほの、ゆうゆう、温泉サ

訪問リハビリ中止の理由は

菅野委員 訪問リハビリ事業を中止した理由は。また、臨時介護員の賃金が9609万円計上されているが何人分か。

美の里の採算ベースは

嶋貫委員 美の里の採算ベースは。最低30人の入所者が必要では。

老健施設事務長 年間を通じて赤字です。定員が100人いないと採算が取れませんが現在の定員は30名です。

31年度は月平均29人で90%の稼働を見込んでいます。



松枯れの松原

町長 4月1日より準サテライト病院として医師が配置されます。国保診療所事務長 置賜病院より派遣される医師に長く勤務してもらうように要望します。

老健施設事務長 1人採用しましたが、産休・育休中のため事業を見込めませんでした。介護員の人数は30人です。



採算が取れない美の里

エアコンを設置

主な使い途

○ふるさと納税返礼品

△1100万円

○いいですね定住推進事業定住奨励

201万円

○町民総合センター大規模改修

△538万円

○防犯灯LED化工事

△1876万円

○空き家対策事業

△630万円

○幼児施設賃金

△3250万円

○経営体育成支援事業

△2397万円

○各会計繰出金

△3538万円



各小学校とも快適に

○中小企業振興事業補助金

△1149万円

○除雪作業委託

2000万円

○添川住宅団地線新設

△1000万円

○小学校エアコン設置事業

2億1671万円

正算 補予

各小学校に

平成30年度 各会計補正予算

(単位：万円)

会 計 名		補 正 額	補正後の額	
一 般 会 計		△ 1 億3214	71億1571	
特 別 会 計	国民健康保険	事業勘定	△1059	7億6054
		直診勘定	△1430	1億0280
	後期高齢者医療	△18	8704	
	介護保険	△4846	10億8337	
	訪問看護	△120	1492	
	介護老人保健施設	△150	2億7946	
	物品調達	16	1789	
	下水道事業	△9947	7億3127	
	財産区	萩生	△31	43
		豊原	△32	35
添川		△4	477	
中津川		△95	455	
水道事業会計	収益的	収入	△73	2億4647
		支出	△553	2億3269
資本的	収入	△840	3127	
	支出	△660	7418	

主な財源

○財政調整基金繰入金

△ 1 億 6 0 0 0 万円

○町民税（個人・法人）

1 0 0 0 万円

○ふるさと寄附金

△ 3 8 2 0 万円

○地方交付税（特別）

5 2 2 9 万円

○町債

△ 3 0 6 0 万円

○国・県補助金

△ 2 1 1 5 万円

○乳幼児施設保育料

4 0 0 万円

工事請負契約の締結

○平成30年度飯豊町新産業集積事業貸工場新築工事（債務負担行為）

契約金額

19億9800万円

工期

完成 32年3月25日

契約の相手方

樋口・那須特定建設
共同企業体

○平成30年度手ノ子地区農業集落排水事業管路工事（第1工区）
請負契約の一部変更

変更の内容

県との協議の結果、
舗装面積を増とした。

契約金額に51万円増
加し、11億4220万
円とするもの。

ふるさと納税は 3割の返礼品で

総務文教常任委員会

各課からの報告

●総務企画課

◆婦郷希望女子応援プロジェクト「飯豊とふれあい、つながる旅」冬ツアーは、平成31年1月12日から2日間で実施され、4人の参加者があり、中津川地区の行事に参加しました。

を30種目に増やし、招待選手にエリック・ワイナイナさんをお迎えして開催します。

長沼委員 東京オリピックの聖火リレーは町内を通過するよう、ぜひ申し入れてもらいたい。

古山委員 地域整備課に空き家対策担当が一部移ることにより、業務に支障は出ないのか。また5～10年後の空き家の把握は。

嶋貫委員 特殊詐欺の被害が県内でも出ているが、町ではどのような対策をしているか。

●教育長

◆2月3日、自然エネルギーの持続可能な地域づくりフォーラムがあり、映画の上映とパネルディスカッションが「あゝす」で開催され、83人の参加がありました。

◆いいで希望塾は、中学3年生が3月3日、1～2年生は3月18日に閉塾しました。小学6年生を対象にして、春休みに体験塾を開催する予定です。

社会教育課長 聖火は新潟県から山形県に入り、秋田県へ2日間で抜けていく予定です。コースは、まだ発表されていませんが、実行委員会でご要請をしていきます。

住民税務課長 十分に引き継ぎを行っていきます。

住民税務課長 電話詐欺などの被害報告はありません。防犯カレンダーなどで周知しています。

◆第37回ダムマラソン大会は、5月12日にコースを変更、6種目

◆社会教育課
◆手ノ子スキー場は、3月3日をもって営業終了しました。

高橋委員 ふるさと納税が減額している。返礼品が3割と相場商品の国方針の中、増額するには。

教育長 保護者説明会と体験も含め、申し込みを取っています。2年生は、部活が中心で少なくなっています。学校と連携し、受講者増に努めます。

後藤委員 いいで希望塾の申し込み数は、予定どおりだったのか。



ダムマラソン

総務企画課長 納税は減っているのが現状です。今年度から3割を返礼品としています。具体的な事業をPRして寄付を募ります。

東京外大生と意見交換

産業厚生常任委員会

各課からの報告

●農林振興課

◆平成31年産の「つや姫」「雪若丸」の課題と対応に向けた栽培研修会が、農業技術普及課主宰で3月6日に開催されました。

●商工観光課

◆2月18日から7泊8日でスタディーツアーが開催され、東京外国語大学生17名が参加しました。

●健康福祉課

◆「飯豊町障がいのある人もない人も共に安心して暮らせるまちづくり基本計画」は、年度末に点検し、見直しを行っています。

●国保診療所

◆国保診療所の橋本医師は今年度で退任され、新たな医師の確保について置賜病院と調整中です。



東京外国語大学の研修風景

質問と答弁

加工米に舵を切ったことを踏まえて町の対応は。

農林振興課長 経営所得安定対策は内容的には変わりません。

町の振興作物としてアスパラガスは奨励していく予定です。小規模農家に対する助成は、薬物野菜の品目を増やしていきます。

農家に支払うとのことですが。

井上委員 現在の造林面積と、最初の植栽はいつからなのか。また今後の見通しは。

農林振興課長 町営分収造林面積は218haで、新植は昭和49年で、新たに造林する計画はありません。

今ある造林地を保全しながら対応していきます。

町長 プレオープンに参加してきました。雰囲気がよくなり、格段の差が出てきました。まずは、見守っていきます。

農業者振興室長 JAでは、加工用米、飼料用米、輸出用米、備蓄用米は最終的に調整金をもって同一価格として

遠藤委員 リニューアルした高円寺は、雰囲気はどう変わったか。町長 プレオープンに参加してきました。雰囲気がよくなり、格段の差が出てきました。まずは、見守っていきます。



●地域整備課
◆近年では少ない積雪で3月7日現在、椿地区27cm、手ノ子地区81cm、下屋地区が151cmとなっています。

臨時会

消雪設備を改修

第1回臨時会

1月29日、第1回臨時会を開催して補正予算1件を審議し、全員賛成により可決しました。

一般会計補正予算

歳入歳出750万円を減額し、総額を72億4784万円としました。

○補正の主なもの

歳入

。地方交付税

495万円の減

。土木費補助金

255万円の減

歳出

。住宅団地ホームページ作成

90万円の増

。消雪設備改修

1050万円の増

。道路改良事業

1890万円の減

繰越明許費の補正

。道路新設改良事業

。小学校エアコン設置

第3回臨時会

3月28日、第3回臨時会を開催し、補正予算1件を審議、全員賛成により可決しました。

一般会計補正予算

歳入歳出予算総額はそのままとし、財源を変更しました。

補正の理由は、椿住宅団地整備事業において雪解けによる増水のため、工事を翌年度へ繰越して実施するため

のものです。

(株)デンソー山形 巨大工場姿を現す



萩生地内に工場拡張中の(株)デンソー山形の第1期工事が完了し、3月1日に竣工祝賀会が執り行われました。また、同日、第2期工事の起工式も行われ、工事の無事を祈願しました。

第2期工事

4月～10月完成予定
敷地面積104000㎡
建築面積162000㎡

完成時の予定面積

敷地面積252000㎡
建築面積218000㎡

第1期工事

7月着工～2月完成
敷地面積148000㎡
建築面積56000㎡

1期工事の広大な工場内に驚いてきました。が、全てが完成すれば、その4倍近い巨大工場になると聞いて、さらに驚きました。

教育長に熊野氏を再任

人事

教育長に熊野昌昭氏を再任することに同意



住所 飯豊町手ノ子
任期 31年4月1日～
34年3月31日

人権擁護委員の候補者を推薦

住所 飯豊町高峰
氏名 高橋 敏夫
任期 31年7月1日～
34年6月30日

財産区管理会委員の選任に同意

○豊原財産区

細谷 芳弘 中
木村 孝雄 萩 生
高橋 輝明 萩 生
手塚 康博 萩 生
佐藤 幹彦 黒 沢
手塚 敬 黒 沢
鈴木 章一 椿

○添川財産区

梅津 忠一 添川
井上 久男 添川
鈴木 茂雄 添川
山本 幸男 添川
佐原 次男 添川
遠藤 吉直 添川
佐藤 芳栄 松原

○豊川財産区

佐藤 利浩 手ノ子
古川 啓治 手ノ子
竹田 一郎 手ノ子
山口 正春 高 峰
高橋 孝 高 峰
舟山 新弥 小白川
船山 彰夫 小白川

全国町村議会議長会

○飯豊町議会

住民に開かれた議会として、積極的に活動を展開し、実績を積み重ねたことを評価され、受賞しました。

○後藤恵一郎議員

議員在職15年以上により、自治功労者表彰を受けました。

山形県町村議会議長会

○鈴木敏夫議員

議員在職11年以上により、自治功労者表彰を受賞しました。

表彰



一部事務組合

浅川最終処分場更に整備

置賜広域行政事務組合議会

2月21日定例会が開催され、31年度各会計予算など5議案を審議し、原案のとおり可決しました。

一般会計予算は、広域交流施設「置賜交流プラザ湯るっと」増設リニューアルの設計業務や情報システムの更新等により、前年度比10・3%増の33億9478万円となりました。30年度一般会計補正予算は、浅川最終処分場整備事業など17億5628万円を増額し、48億3145万円となりました。

置賜広域病院企業団議会

2月定例会が2月7日開催され、病院事業会計の30年度補正予算と31年度予算、未収金にかかる権利放棄及び特別職の報酬等の支給に関する条例の一部改正など6議案を審議し、原案のとおり可決しました。

31年度の予算は、収益的事業の収入総額を164億5753万円、支出総額を162億3572万円としました。本人死亡などの理由により、債権回収不能となった診療費の未収金97件で約319万円の権利を放棄することにしました。

3月26日定例会を開催し、31年度予算、火災予防条例の一部改正など3議案を原案のとおり可決しました。

一般会計の総額は15億5531万円で、対前年度比9%増。31年度の主な歳出は旧白鷹分署の解体工事費1107万円、小国分署査察広報車の更新600万円、おいたま荘施設改修総事業費7219万円です。

31年度に初めての女性消防士1人の採用が決定しました。将来的には3、4人が目標です。

なお、本町の分担金は2億347万円です。



埋立地として更に整備される浅川処分場

西置賜行政組合議会

編集後記

雪の少ない冬だったからでしょうか。春がかけ足で近づき、桜のつぼみもふくらんできた今日この頃。

3月定例会も閉会し、今までにない大型予算が成立しました。

この予算が今後の町発展にどのように活かせるかが問題と考えます。

町民第一主義を守り、議員一同、一生懸命頑張っていくます。

(井上記)

発行責任者

- | | |
|------|-------|
| 議長 | 後藤恵一郎 |
| 委員長 | 井上 南 |
| 副委員長 | 高橋 亨一 |
| 委員 | 長沼 桂子 |
| 委員 | 菅野富士雄 |
| 委員 | 古山 繁巳 |
| 委員 | 遠藤 忠 |